

第2日 1月31日（土）6部 受付13時20分～13時40分 発表13時40分～14時50分

12 学校と大学の協働的実践研究部会	部会テーマ	現職派遣院生による学校改革・授業力の向上を目指した実践研究
内 容	宇都宮大学教職大学院では、理論と実践を往還しながら学校改革力、授業力、個への対応力を伸長することを目指している。現職派遣院生は、学校の校内研究等に実習生として参画させていただきながら自身の研究テーマについての実践研究を行っている。本部会では、3名の現職派遣院生による2年間の実践研究の発表を通して、学校改革や、学校と大学の更なる連携・協働の可能性を考える機会としたい。	
部会担当	伊藤 聰（総合教育センター）	指導助言者 和井内良樹（宇都宮大学大学院）

※ 時刻はおよその目安です。予定時刻通りにならない場合もありますことを御了承願います。

### 説明 発表者紹介及び部会の流れについて

#### 13時40分～13時45分

宇都宮大学大学院教育学研究科 和井内良樹

#### 発表① 通級による指導と通常の学級の学びを教科学習でつなぐための教師間連携

～「自立活動」の視点から子どもの状態像を共に探る～

#### 13時45分～14時05分

足利市立大月小学校 大川 華奈

本研究の目的は、「児童理解」と「自立活動」に関する校内研修により得られた理論知を、実践知とするための方策を検討することである。通級による指導と通常の学級の教員同士が日常的に活用している連携ノートに自立活動という共通言語を取り入れた結果、双方の教員に研修転移の傾向を捉えることができた。

#### 発表② 教師の探究を促す校内体制の構築

～授業づくり・授業研究を基軸にして～

#### 14時05分～14時25分

日光市立今市中学校 杉本 覚

本研究では、授業づくりや授業研究において、教師が互いに刺激し合いながら「探究」を進める方法や過程を整理し、「探究」を深めていくために必要な手立てを考察した。教師の「探究」とそれを促す「触発」をキーワードに、さまざまな学び方を視野に入れた体制構築の視座を提案する。

発表③

## 6学年国語科から始める単元内自由進度学習

～多声的な対話空間の視点から～

14時05分～14時25分

宇都宮市立姿川第一小学校 櫻井 健吾

6学年国語科『模型のまち』『海のいのち』を対象に、単元内自由進度学習における多様な「声」が響き合う多声的対話空間の生成を探る実践研究である。実践を通じての児童の変化とそれに伴う対話の意味、授業者の変容を明らかにする。

指導助言

14時45分～14時50分

宇都宮大学大学院教育学研究科 和井内良樹